

9月7日：売りに押され、VN指数は6日ぶりの反落

取引終盤にかけ利益確定売りが大きく増えたことで、ベトナム株は下落した。

ホーチミン市場のVN指数は0.33%安の1,341.90ポイントで取引を終えた。

同指数は前日0.88%安の1,346.39ポイントで引けていた。

騰落別では294銘柄が下落、125銘柄が上昇、28銘柄は変わらずだった。

売買高は約8億6,940万株で、売買代金は26兆6,000億ドン（12億米ドル）となった。

午後に入ると急に利益確定売りが増え、VN指数は下げに転じた。

「VN指数はほとんどの時間、落ち着かない動きとなった。同指数は大引けにかけ、下げ幅を広げた」（BIDV証券）

「前日と比べ出来高はわずかに減少し、値下がり銘柄数は値上がり銘柄数を上回った。投資家が1,350ポイント付近の上値抵抗線に対して慎重な姿勢を見せていることを示している」（同証券会社）

「一方で外国人投資家はホーチミン市場で売り越し、ハノイ市場で買い越した」（同証券会社）

「本日の下落は、VN指数が短期的に1,350ポイント付近で下値を固めていく可能性を示した」（同証券会社）

バオベトホールディングス（BVH）、ペトロベトナムガス（GAS）、FPTグループ（FPT）、ホアファットグループ（HPG）、マサングループ（MSN）、サイゴンビールアルコール飲料（SAB）、ビンググループ（VIC）、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）、フーニュアンジュエリー（PNJ）、PVパワー（POW）、ビンコムリテール（VRE）といった多くの大型株が売られ、マーケットの重しとなった。

サコムバンク（STB）、ヴィエティンバンク（VPB）、TPバンク（TPB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、VPバンク（VPB）、軍隊商業銀行（MBB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム国際銀行といった銀行株は引き続き買われ、マーケットの上昇を下支えした。

VN30 指数は 0.18% 高の 1,444.10 ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち、11 銘柄が上昇、17 銘柄が下落した。

セクター別では全 25 業種のうち保険、食品飲料、水産加工、不動産、農業、家電製造業、物流、建設、建材を含む 22 業種が下落。

一方でハノイ市場の HNX 指数は 0.25% 高の 346.48 ポイントだった。

同指数は 2.21 ポイント高の 345.63 ポイントで取引を終えた。

売買高は 1 億 6,900 万株を超え、売買代金は 3 兆 6,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。